



平成24年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年3月6日

上場会社名 (株)アスカネット 上場取引所 東  
 コード番号 2438 URL <http://www.asukanet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 福田 幸雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 功野 顕也 (TEL) 082-850-1200  
 四半期報告書提出予定日 平成24年3月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第3四半期の業績(平成23年5月1日～平成24年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第3四半期	3,369	0.1	620	5.6	621	6.1	353	3.7
23年4月期第3四半期	3,365	△0.5	587	18.8	586	19.5	340	22.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第3四半期	8,437.58	—
23年4月期第3四半期	8,025.61	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年4月期第3四半期	3,487	2,967	84.8	70,627.66
23年4月期	3,401	2,693	78.9	64,084.66

(参考) 自己資本 24年4月期第3四半期 2,956百万円 23年4月期 2,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	1,900.00	1,900.00
24年4月期	—	0.00	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	1,500.00	1,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,534	0.8	693	△5.6	690	△5.8	400	△2.8	9,572.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年4月期3Q	43,660株	23年4月期	43,660株
24年4月期3Q	1,794株	23年4月期	1,794株
24年4月期3Q	41,866株	23年4月期3Q	42,450株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞から持ち直しの兆候が一部で見られるものの、欧州における金融不安や長期的な円高などにより、依然として先行き不透明な状況が継続しています。

当社を取り巻く環境につきましても、震災の影響による個人消費の手控えにより、婚礼市場や一般消費者市場は停滞が継続しており、海外市場におきましては、円高も加わり一層厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社はフューネラル(葬祭)市場に対する遺影写真等画像映像のデジタル加工、通信出力を主体としたメモリアルデザインサービス事業と、デジタル写真とオンデマンド印刷の融合を目指し、一般消費者からプロフェッショナル写真家までをターゲットに個人向け写真集の作成、販売を主体としたパーソナルパブリッシングサービス事業に加え、空中結像技術による新しい映像画像表現にチャレンジするエアリアルイメージング事業を展開いたしました。8月にはコーポレートロゴ、コーポレートサイトをリニューアルいたしました。

当第3四半期累計期間の売上高は3,369,543千円(前年同四半期比100.1%)、営業利益は620,607千円(前年同四半期比105.6%)、経常利益は621,832千円(前年同四半期比106.1%)、四半期純利益は353,247千円(前年同四半期比103.7%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (メモリアルデザインサービス事業)

メモリアルデザインサービス事業におきましては、引き続き画像処理の高い技術力や充実した自社サポート体制を強調した顧客開拓を進め、新規顧客を獲得するとともに、動画を用いた葬儀演出ツールや、キャンペーン施策によるハード機器の販売に重点的に取り組んでまいりました。その結果、全般的に順調に推移し、当第3四半期累計期間の売上高は1,548,872千円(前年同四半期比106.8%)、セグメント利益は526,322千円(前年同四半期比105.7%)となりました。

#### (パーソナルパブリッシングサービス事業)

パーソナルパブリッシングサービス事業におきましては、自社営業による新規顧客開拓、セミナー等による顧客掘り起こし、インターネットを中心とした宣伝施策の実施により、業務拡大を図ってまいりました。また、コンシューマ向けサービスやプロ向け受注システムのバージョンアップを行いました。厳しい経済環境のもと、特に海外市場は円高の進行もあり苦戦しましたが、国内業務向け市場、国内一般消費者市場は、東日本大震災後の自粛ムードは徐々に緩和されつつあり、前年同四半期に比べ減少したものの、想定は上回ることができました。利益面につきましては、売上高の増加に加え、材料価格の低下や減価償却費の減少により粗利益率が向上し、販売費及び一般管理費においても、海外市場向け販売手数料、広告宣伝費が減少いたしました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,816,525千円(前年同四半期比94.8%)、セグメント利益は389,875千円(前年同四半期比119.2%)となりました。

(エアリアルイメージング事業)

エアリアルイメージング事業におきましては、マーケティング面においては、9月、10月にコンベンションに出展し、そのフォローに注力し、1月には試作品の提供を開始することができました。3月に開催するコンベンションの準備も進めております。また、空中結像技術のさらなる研究、量産化の検討を進めてまいりました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,146千円、セグメント損失は48,708千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ85,583千円増加し、3,487,168千円となりました。これは主に、有形固定資産が70,832千円減少した一方で、現金及び預金が138,332千円増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ188,345千円減少し、519,483千円となりました。これは主に、未払法人税等が74,320千円、長期借入金が51,750千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ273,929千円増加し、2,967,684千円となりました。これは主に、剰余金の配当として79,545千円計上した一方で、四半期純利益を353,247千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年11月25日に公表しました平成24年4月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,144,449	1,282,781
受取手形及び売掛金	523,599	556,069
商品及び製品	92,935	76,733
仕掛品	8,892	12,121
原材料	45,754	44,276
その他	89,857	93,492
貸倒引当金	△7,532	△8,677
流動資産合計	1,897,957	2,056,797
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	483,393	469,850
土地	370,758	370,758
その他(純額)	203,910	146,621
有形固定資産合計	1,058,062	987,230
無形固定資産	255,658	253,417
投資その他の資産	189,905	189,722
固定資産合計	1,503,627	1,430,370
資産合計	3,401,584	3,487,168
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	77,129	70,271
未払法人税等	178,000	103,680
賞与引当金	110,300	53,100
その他	251,887	257,355
流動負債合計	617,316	484,406
固定負債		
長期借入金	77,723	25,973
退職給付引当金	12,789	9,104
固定負債合計	90,512	35,077
負債合計	707,829	519,483
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	606,585	606,585
利益剰余金	1,709,764	1,983,466
自己株式	△122,549	△122,549
株主資本合計	2,684,100	2,957,802
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,131	△904
評価・換算差額等合計	△1,131	△904
新株予約権	10,787	10,787
純資産合計	2,693,755	2,967,684
負債純資産合計	3,401,584	3,487,168

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)
売上高	3,365,154	3,369,543
売上原価	1,618,033	1,556,205
売上総利益	1,747,121	1,813,338
販売費及び一般管理費	1,159,660	1,192,731
営業利益	587,461	620,607
営業外収益		
受取利息	271	234
受取配当金	557	500
受取手数料	742	409
助成金収入	7,114	7,140
その他	671	547
営業外収益合計	9,357	8,830
営業外費用		
支払利息	2,360	1,457
為替差損	7,767	6,120
その他	400	27
営業外費用合計	10,528	7,605
経常利益	586,290	621,832
特別損失		
固定資産売却損	—	499
固定資産除却損	3,747	13,004
特別損失合計	3,747	13,503
税引前四半期純利益	582,542	608,329
法人税等	241,854	255,081
四半期純利益	340,687	353,247

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期累計期間(自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシング サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,449,982	1,915,171	3,365,154	—	3,365,154
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,449,982	1,915,171	3,365,154	—	3,365,154
セグメント利益	498,136	327,208	825,345	△237,884	587,461

(注) 1 セグメント利益の調整額△237,884千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシング サービス事業	エアリアルイ メージング事 業(注) 3	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,548,872	1,816,525	4,146	3,369,543	—	3,369,543
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,548,872	1,816,525	4,146	3,369,543	—	3,369,543
セグメント利益又は損失 (△)	526,322	389,875	△48,708	867,490	△246,883	620,607

(注) 1 セグメント利益の調整額△246,883千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

3 エアリアルイメージング事業は、平成23年3月から開始した事業であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。